

補助金等評価シート

●基本情報

補助金名	水洗便所改造費助成金						所管課	業務課
予算費目	款	下水道事業費用	項	営業費用	目	普及指導費	事業	
	節	補助及び交付金	細節	水洗便所改造費助成金	細々節	水洗便所改造費助成金		
総合計画	基本方針	6	快適で住みよい生活環境と_豊かな自然に恵まれたまちづくり			政策分野	13 都市基盤	
	施策	3	上下水道			主な取組	Ⅱ 下水道（污水处理施設）の整備と持続的なサービスの提供	
交付開始年度	平成19年度		継続年数	18年		終了・見直し（予定）年度	令和8年度	
法令・例規等	根拠法令							
	要綱名	木津川市水洗便所改造費助成金交付要綱						
分類	個人補助			市が独自の政策判断により、利用者等の負担軽減や個人に対する扶助的要素を含んだ支援を目的とするもの				
目的	公共下水道の使用に関し、下水道の普及促進、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図る。							
内容	既設のくみ取便所及び排水設備等を改造しようとする者に対し、助成金を交付する。							
補助率の設定	定額補助	補助率				上限額	20,000円	

ガイドライン対象	対象	対象外の理由	
----------	----	--------	--

●補助金等の状況

予算（要求）額	令和6年度		令和7年度		令和8年度（予定）		
	300,000円	前年度比	300,000円	前年度比	150,000円	前年度比	
財源	特定財源	300,000円		300,000円	100%	150,000円	50%
	一般財源	0円		0円		0円	
	特定財源率（%）	100%		100%	100%	100%	100%
補助対象事業費（見込）		-		-			
補助金額（見込）		60,000円		0円	0%		
補助率（%）		-		-			
補助の実績（予定）		交付申請のあった3名に助成金交付を行うことで、下水道の普及促進、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図った。		令和7年度については、交付申請者がいなかった。		令和8年度中に交付申請を行った者に対し助成金交付を行うことで、下水道の普及促進、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図る。	
※団体運営費補助のみ	交付先団体における年間予算額						
	補助金の占める割合						
	令和6年度の交付先団体における繰越金						
	補助金と繰越金の割合対比						

●成果指標・目標

成果指標			
実績・目標値	令和6年度【実績値】	令和7年度【実績値】	令和8年度【目標値】

●基本的な視点

検証項目		チェック	特記事項
公益性	事業の目的や内容に明確な公益性が認められるか	○	
必要性	社会経済情勢の変化や市民ニーズ等の変化に的確に対応しているか	○	
	補助事業の目的や内容について、行政が関与する必要があるか	○	
	所期の目的を達成しているものではないか	○	
有効性	補助事業の目的に沿った成果があり、補助金に見合った効果が挙げられたか	○	
	行政の直接執行や事業委託と比較し、補助金等による執行が最適な手段か	○	
	少額又は申請件数の少ない補助金等について、継続する必要があるか	○	
妥当性	補助対象経費は、公金で補助することが妥当であるか	○	
	補助率や補助金額は社会経済情勢等や他自治体と比較し適切か	○	
公平性	必要性などが検証されることなく、同一の対象者に対し、長期間にわたり補助金等の支出をしていないか	○	
	明確な理由なく補助対象者を特定するなど、交付先に偏りがないか	○	
透明性	個別の要綱が制定されており、申請に係る書類の様式が定まっているか	○	
	補助金の概要、要綱等がホームページ等に掲載されているか	○	

●見直し基準

項目		適否	特記事項
1	ガイドラインに基づく必要事項・申請書類等が規定された補助金等交付要綱が整備されている	○	
2	補助率は補助対象経費の1/2以下である	—	下水道の普及促進を図り、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、定額補助としている。
3	対象経費を明確にしており、公共性・公益性が伴わない経費は対象外としている	—	
4	前金払・概算払を行っていない、もしくは、補助金等交付要綱に基づく規定・様式により適正な支給を行っている	○	
5	交付先団体の繰越金等を含めた財務状況からみて補助は適正である（団体運営費補助のみ）	—	
6	交付先団体の事務局が適切に運営されているか（団体運営費補助のみ）	—	

●今後の方向性

方向性	☒ 現行のまま継続 ☐ 見直し継続 ☐ 廃止	
現行のまま継続とする理由 見直し内容 又は 廃止理由	公共下水道の使用に関し、下水道の普及促進、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため継続する。	
見直し・廃止の時期		